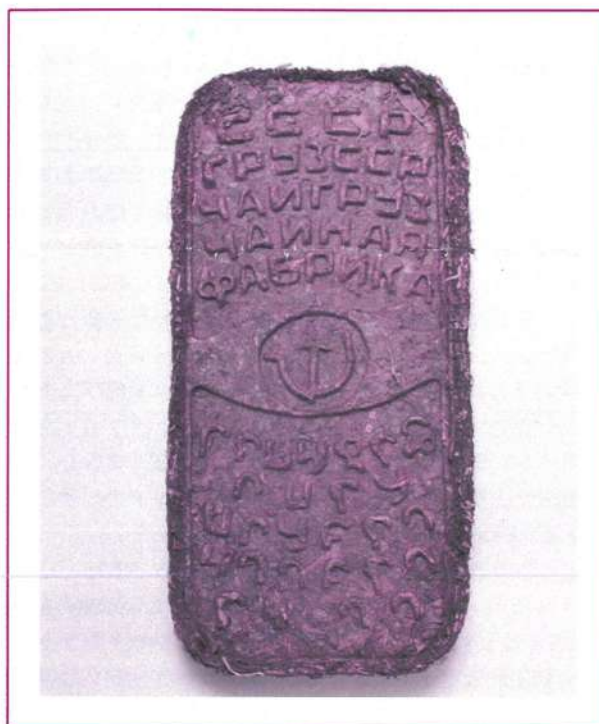




北方民族博物館だより

No.140



D14.7 食材<タン茶> モンゴル/ウランバートル
長さ36.5cm×幅18cm×高さ5cm 2002年収集

タン茶はチャノキ (*Camellia sinensis*) の葉を蒸し固めて作る緊圧茶きんあつちやの一種。レンガのような見た目から、モンゴル語で「チョローン・ツァイ (石の茶)」という。モンゴルでは一般的な茶であり、携帯性・保存性に優れるほか、ビタミン源としても重要である。飲用する際は、使う分だけ砕いて大鍋に沸かした湯に入れて煮出す。塩と乳を加えて飲むのがモンゴル流であるが、ときには穀類や肉を混ぜてスープのようにしても食べる。

写真のタン茶はモンゴルの首都ウランバートルのデパートで2002年に購入したもの。値段は1700トゥグルク (当時のレートで190～195円)。表面の印字から、旧グルジア・ソビエト社会主義共和国 (現ジョージア) で生産されたと考えられる。

目次 Contents

- 1 表紙 食材<タン茶>
- 2 講座「皮革文化財と科学技術」
／ロビー展「オホーツクシリーズ⑩ 北の状景から」
- 3 ロビー展「イランカラブテーアイヌ文化をウボボイから」
／講習会「樺太アイヌまじの匙エチペへを作ろう」
- 4 企画展「開館35周年記念収集資料展」
- 5 講座「北方民族博物館の収集資料」
／ホリデーイベント「動物の毛皮に触ってみよう」
- 6 INFORMATION

**ロビー展「Innovate MUSEUM 事業成果写真展
文化財写真の可能性」**

当館は文化庁の令和7年度 Innovate MUSEUM 事業の博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進事業において中核館となり、オホーツクミュージアムえさし、士別市立博物館、釧路市立美術館、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設の計4館の収蔵資料のデジタル化に取り組みました。本展ではその成果を写真展として紹介します。

会期：2026年4月25日(土)～5月17日(日)

会場：北海道立北方民族博物館・ロビー

観覧料：無料

「北海道立北方民族博物館研究紀要」第35号 目次

〈論文〉

・服部文庫公開シリーズ 12

Takeshi Hattori's Nivkh materials re-evaluated from a phonological and morphological perspective: An analysis of two South Sakhalin Nivkh Folktales (Martijn Knapen)

・北米北西海岸における銅板と「骨からの再生」：18～19世紀における威信財の価値と変容（野口泰弥）

〈研究ノート〉

・《写真100年—日本人による写真表現の歴史展—》(1968年)による「北海道写真」の成立（中村絵美）

・トナカイ遊牧民コリャークの食料・飲料への植物利用に関するレポート（呉人恵・佐藤重吾）

〈調査報告〉

・樺太アイヌ語タライカ方言のウチャシクマ 1篇（村崎恭子）

・モンゴル国のトナカイ牧畜民における環境変化と生業に関する認識について（中田篤・西村幹也）

〈資料紹介〉

・服部文庫公開シリーズ 13

北海道立北方民族博物館収蔵の服部文庫資料に含まれる植物標本群の同定（首藤光太郎）

・近世末期のアイヌ語辞書～番人円吉蝦夷記（宮川啄）

・のりりすと2025—北方研究データベース—（笹倉いる美）

INFORMATION

行事報告

イベントなど

◆12月18日(木)、ロビーコンサート2025「青少年のための室内楽の夕べ」が開催されました。今年は札幌交響楽団から赤間さゆらさん、龍田香葉美さん（以上二名ヴァイオリン）、鈴木勇人さん（ヴィオラ）、石川祐支さん（チェロ）のカルテットにお越しいただきました。



コンサートの様子

◆1月10日(土)、講習会「はじめての歩くスキーツアー」（講師：中田篤主任学芸員、網走スキー協会会員）を開催しました。初めに北方民族のスキーについて紹介したのち、実際に歩くスキーを体験しました。



上手に滑れました！

◆2月11日(水・祝)、「第36回北方民族博物館開館記念感謝DAY」が催されました。恒例となっているおしるこの無料配布やオリジナルマグネットづくり、かんじき体験を今年も実施しました。



大盛況のマグネットづくり

はくぶつかんクラブ

◆12月13日(土)、はくぶつかんクラブ「皮とフェルトでつくるカレンダー」（講師：菅原章子解説員）を開催しました。

◆1月17日(土)、はくぶつかんクラブ「ビーズ織りでつくるルームプレート」（講師：平栗美紅解説員）を開催しました。



うまくなりました！

◆2月21日(土)、はくぶつかんクラブ「北の動物ししゅうのティッシュケース」（講師：石原生久代解説員）を開催しました。



すてきな作品に仕上がりました

学芸員実務実習

◆1月27(火)～2月1日(日)、2025年度の北海道立北方民族博物館学芸員実務実習として4名の実習生を受け入れました。

**北方民族博物館だより
No.140**

令和8年(2026年)3月20日発行
編集・発行 北海道立北方民族博物館
〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1
Tel 0152-45-3888 Fax 0152-45-3889
e-mail: tonakai@hoppohm.org
https://hoppohm.org
指定管理者
一般財団法人北方文化振興協会